

2015年第2回IEEE Japan Council 理事会 議事録

日時：2015年7月6日（月） 14:40～17:00

場所：名古屋大学 野依記念学術交流館 1階会議室

出席者：青山 Chair、雁部 Vice Chair、原崎 Secretary、藤代 Treasurer、
山本、安達、原田(代理)、古橋、山内、種谷、船曳、福田(晃)、杉山、中里、西原(代理)、
小山、高村、石川、島村(代理)、杉江、尾上、南、Park（敬称略、順不同）
オブザーバ：百武、小倉、和泉、井上、青木、石橋、福田(光)、各務、間瀬、長尾、道木、
加納（敬称略、順不同）
事務局：加藤、長塚 幹事会社：柴田

議題：

1. 2015年第1回理事会議事録の確認【審議】
2. 2015年上半期会計報告およびSection 支援費申請状況報告
3. 常設委員会活動報告
 - 3-1 Chapter Operations Committee
 - 3-2 Student Activities Committee
 - 3-3 Award Committee
 - 3-4 Industry Promotion Committee
4. Ad-Hoc 委員会活動報告
 - 4-1 Long Range Strategy Committee
 - 4-2 History Committee
5. 各支部活動報告
6. その他
 - 6-1 WIE 活動報告
 - 6-2 会長、ボードメンバー他の日本訪問について
 - 6-3 MAW 報告

議事：

1. 2015 年第 1 回理事会議事録の確認（審議）

原崎 Secretary より前回理事会（2015 年 3 月）の議事録案の説明がなされた。

うち議事番号 5-2 History Committee の審議事項について、HC 島村 Vice Chair より修正提案がなされた。修正を加えた議事録について承認された。

2. 2015 年上半期会計報告および Section 支援費申請状況報告

藤代 Treasurer より報告がなされた。6 月末日時点の収支報告および年間の収支予測が説明された。

3. 常設委員会活動報告

3-1 Chapter Operations Committee

杉山 Chair より報告がなされた。全ての Chapter が Section 傘下へ移行した後の JC COC の役割については、JC COC が引き続き Chapter 支援費の配分を行うことが承認された。

3-2 Student Activities Committee

中里 Chair より報告がなされた。Student Branch Leadership Training Workshop を、本年は東京支部主催の Metro Area Workshop (MAW) と同時に 5 月 15~16 日に早稲田大学にて開催。IEEE Authorship Workshop も同時開催を行った。今回の成功を受け、来年 2016 年に関西支部主催で計画が進められている MAW でも同時開催の意向。

3-3 Award Committee

まず南 Vice Chair から配布資料に沿って報告が行われ、その後青山 Chair より補足(活動の背景や経緯等) がなされた。

JC-AC 活動の一環として調査が行われた「IEEE Medals, Technical Field Awards, Recognitions の各国の受賞状況及び主な動向」についての紹介が行われた。

3-4 Industry Promotion Committee

西原 Vice Chair より報告がなされた。主なイベントとして、4 月 IEEE Delegation との会合、5 月 Metro Area Workshop (MAW) が開催された。MAW については来年 2016 年夏の関西での開催についても IPC として協力を行う。尚、2017 年以降の開催については各支部から提案頂きたい。

4. Ad-Hoc 委員会活動報告

4-1 Long Range Strategy Committee

雁部 Chair より報告がなされた。JC 理事会への若手/女性の意見反映のために、Bylaws を変えず運用で対応できる可能性を検討中である。YP を超え LMAG に至らない年齢層の会員への魅力向上も考慮しネットワーキングの場の設立も検討。

2016 年予算案策定に向け、Section 支援方法を含めた検討について。LRSC は諮問機関であるため、来年度予算案策定に向けての答申を出す。

4-2 History Committee

島村 Vice Chair より報告がなされた。HISTELCON 日本開催に向けての準備状況については、第 1 回 JC 理事会で承認されなかった具体的な提案内容から、JC HC 主催とした縮小案を策定中である。その決議事項をもって、JC 共催についての具体的な提案を行うので、JC 理事会にて引き続き審議をお願いしたい。

5. 各支部活動報告

5-1 札幌支部

山本 Chair より報告がなされた。若手研究者や学生向けの表彰制度の計画が紹介された。

5-2 仙台支部

安達 Chair より報告がなされた。Student Activities 各事業についての開催計画、また任期満了に伴う次期（2016-2017）の役員改選が行われることが説明された。

5-3 信越支部

原田 Vice Chair より報告がなされた。IEEE セッション開催、学生表彰、学生への国際会議参加支援のための奨励賞の計画が紹介された。

5-4 東京支部

杉江理事（東京支部 Chair 代理）より報告がなされた。5 月に Milestone 認定記念講演や Metro Area Workshop が開催されたことが紹介された。

5-5 名古屋支部

古橋 Chair より報告がなされた。2014 年決算概要資料を追加として配布され、支部会計についての現状が説明された。

5-6 関西支部

山内 Chair より報告がなされた。4 月の IEEE Delegation との関西での会合は 4 社が参加し活発な議論ができたこと、5 月の Milestone 認定式典が開催されたことなどが紹介された。

5-7 広島支部

船曳 Chair より報告がなされた。講演会の共催、国際会議の後援を行った。11 月に開催する IEEE 広島支部学生シンポジウム（HISS）についての説明がなされた。

5-8 福岡支部福田 Chair より報告がなされた。学生研究奨励賞・発表奨励賞の実施について、講演会・研究会・国際会議等の開催についての計画が詳細された。

6. その他

6-1 WIE 活動報告

石川 Chair より報告がなされた。

Metro Area Workshop では JC WIE 設立 10 周年を祝賀したことが紹介された。

6-2 会長、ボードメンバ他の日本訪問について

原崎 Secretary より報告がなされた。

6-3 Metro Area Workshop 報告

原崎 東京支部 Secretary より報告がなされた。

6-4 【追加】 MOU 締結と共催等の承認に関する手続きについて

原崎 Secretary より、追加資料が配布され説明がなされた。

【補足事項】

前回の第 1 回理事会で承認された JC 活動への若手/女性の参加促進施策の一環として、本理事会開始前の 14:00 から約 40 分間、名古屋 SB、関西 YP、関西 WIE、各代表者計 3 名からの活動報告および理事会への要望発表、それに伴う質疑応答が行われた。上記 3 名はその後 14:40 からの本 JC 理事会にもオブザーバとして出席された。

また理事会終了後には同名古屋大学内のレストラン シェ・ジローにて懇親会が開催された。

以上